

1. 科目名 (単位数)	保育内容総論Ⅱ (2 単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	関 容子		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「保育内容総論」の単位を取得した者。		
7. 講義概要	「保育内容総論」の授業内容をふまえて、その応用、発展的な学習を目指す。幼稚園実習及び保育所実習の経験を活用させ、グループワークを取り入れながら現場の保育内容について検証する。また、保育内容に関する知識・理解を深めるために、様々な保育実践事例を取り上げ、事例から子どもの発達の可能性を見出す視点を養うと共にその保育内容について総合的に検証・評価する。		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもをとりまく社会的状況を理解し、説明することができる。</li> <li>・幼稚園実習及び保育所実習経験をふまえて現場の保育内容を検証することができる。</li> <li>・よりよい保育内容を構築するための環境構成、指導・援助について考察することができる。</li> <li>・様々な保育実践事例を通して、子どもの発達や学習の可能性を考察し、議論することができる。</li> <li>・保育全体への視野を広げ、保育内容を総合的に検証・評価する力を身につける。</li> </ul>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前学習に示された学習課題に取り組んで、授業に出席する。</li> <li>2. 課題 (事後学習) をまとめる。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人全国幼児教育研究協会 編著代表 岡上直子『あしたの保育が楽しくなる実践事例集ワクワク! ドキドキ! が生まれる環境構成: ~3.4.5 歳児の主体的・対話的で深い学び~アクティブ・ラーニングの視点から保育を見直す解説つき』ひかりのくに 2017 年</li> <li>・宮里暁美著『0-5 歳児子どもの「やりたい!」が発揮される保育環境: 主体的・対話的で深い学びへと誘う』Gakken; New 版』2018</li> <li>・大豆生田啓友著『子ども主体の保育をつくる 56 の言葉』Gakken 2025 年</li> <li>・閣議決定・文部科学省・厚生労働省・内閣府 令和 5 年度最新版『幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン・幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領』チャイルド本社</li> </ul> <p>(平成 29 年 3 月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) その他、適宜資料を配布する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園実習及び保育所実習経験をふまえて現場の保育内容を検証することができるか。</li> <li>2. よりよい保育内容を構築するための環境構成、指導・援助について考察することができるか。</li> <li>3. 様々な保育実践事例を通して、子どもの発達や学習の可能性を考察し、議論できるか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加態度、課題への取り組み、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 積極的授業態度 総合点の 30%</li> <li>2 課題への取り組み 総合点の 30%</li> <li>3 期末レポート 総合点の 40%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>「保育内容総論」で学習した内容を踏まえ、現行の幼稚園教育要領及び保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の 5 領域に示されている「ねらい」、「内容」、「内容の取り扱い」について、幼稚園実習、保育所実習経験を振り返りながら理解を深める。更に、子どもの年齢や発達段階に応じた子ども主体の保育の視点から援助や配慮、子どもを取り巻く課題に視野を広げ、保育の計画と指導法の在り方について検討する。保育事例から、学生自身の発見や考えをもとに、保育を見直し、改善する視点する力を身に付けて欲しい。</p> <p>なお、授業の進行状況等により変更の可能性があります。</p>		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	<p>オリエンテーション (授業概要の説明と進め方)</p> <p>『あしたの保育が楽しくなる実践事例集ワクワク! ドキドキ! が生まれる環境構成: ~3.4.5 歳児の主体的・対話的で深い学び~アクティブ・ラーニングの視点から保育を見直す解説つき』</p> <p>プロローグ</p> <p>「保育実践に求められること」</p> <p>・幼稚園実習、保育所実習を振り返る</p>	事前学習	教科書『あしたの保育が楽しくなる実践事例集ワクワク! ドキドキ! が生まれる環境構成』のプロローグ p.10 まで読み理解する。
		事後学習	実習経験を通して「気になったこと」について挙げ、その理由について考えをまとめる。
第 2 回	「保育施設による生活の違い」	事前学習	実習園での生活の流れを振り返り、疑問点を整理する。

		事後学習	保育施設による生活の違いを知り、保育者の意図や保護者の想い、子どもへの影響について考える。
第3回	「特色ある保育実践」 自然保育 外国籍等の子どもの受け入れと保護者対応 地域との連携 ICT活用など	事前学習	実習園で実践されていた保育内容についてまとめる。
		事後学習	自由保育や自然を取り入れた保育実践など、グループディスカッションを通して、自分が実践したい保育について考えをまとめる。
第4回	「子どもの発見や挑戦、葛藤や自己主張」	事前学習	「子どもの発見や挑戦、葛藤や自己主張」といった場面を挙げ、その時の状況をまとめてくる。
		事後学習	グループディスカッションを通して、子どもの想いや育ち、保育者の関わりについて考えを深める。
第5回	「乳児の発達の特徴と遊び、環境構成と配慮点」	事前学習	実習園での乳児の特徴と遊び、環境構成と配慮点についてまとめてくる。教科書『0-5歳児子どもの「やりたい!」が発揮される保育環境: 主体的・対話的で深い学びへと誘う』pp. 14-17 p. 38以降を読んでくる。
		事後学習	グループディスカッションを通して、乳児の発達の特徴や、保育施設の取り組み、保育者の関わりについて考えを深める。
第6回	「1・2歳児の発達の特徴や遊び、人や物との関わり」	事前学習	実習園での1・2歳児の特徴と遊び、人や物との関わり、環境構成と配慮点についてまとめてくる。教科書『0-5歳児子どもの「やりたい!」が発揮される保育環境: 主体的・対話的で深い学びへと誘う』pp. 18-25 p. 38以降を読んでくる。
		事後学習	グループディスカッションを通して、1・2歳児の発達の特徴や、保育施設の取り組み、保育者の関わりについて考えを深める。
第7回	「3・4歳児の発達の特徴と遊びの発展、子ども同士の関係や生活習慣」	事前学習	実習園での3・4歳児の生活と遊び、友だちとの関係についてまとめてくる。教科書『0-5歳児子どもの「やりたい!」が発揮される保育環境: 主体的・対話的で深い学びへと誘う』pp. 26-31 p. 38以降を読んでくる。また『ドキドキ!が生まれる環境構成: 3.4.5歳児の主体的・対話的で深い学び`アクティブ・ラーニングの視点から保育を見直す解説つき』pp. 16-79を読んでくる。
		事後学習	グループディスカッションを通して、3・4歳児の発達の特徴や、保育内容、保育者の関わりについて考えを深める。
第8回	「4・5歳児の発達の特徴と遊び、子ども同士の関係への援助、就学を見据えた取り組み、」	事前学習	実習園での4・5歳児の生活と遊び、友だちとの関係についてまとめてくる。教科書『0-5歳児子どもの「やりたい!」が発揮される保育環境: 主体的・対話的で深い学びへと誘う』pp. 30-37 p. 38以降を読んでくる。また『ドキドキ!が生まれる環境構成: 3.4.5歳児の主体的・対話的で深い学び`アクティブ・ラーニングの視点から保育を見直す解説つき』pp. 80-127を読んでくる。
		事後学習	グループディスカッションを通して、4・5歳児の発達の特徴や、保育内容、保育者の関わりについて考えを深める。
第9回	3歳未満児の指導計画作成における子ども主体の視点から提案したい取り組みについて具体的な場面や保育内容について討論する。	事前学習	これまでの学びを振り返り、3歳未満児の年齢と発達に応じた園での生活経験について考える。
		事後学習	グループディスカッションを通して、3歳未満児の個々の発達や特徴を踏まえた子ども主体の保育が展開される環境構成や支援の在り方について、自分なりの考えをまとめる。
第10回	3歳以上児の指導計画作成における子ども主体の視点から提案したい取り組みについて具体的な場面や保育内容について討論する。	事前学習	これまでの学びを振り返り、3歳以上児の年齢と発達に応じた園での生活経験について考える。
		事後学習	グループディスカッションを通して、3歳以上児の個々の興味や発達を踏まえた子ども主体の保育が展開される環境構成やその展開の見通しについて考えをまとめる。
第11回	子ども主体の保育について、指導計画作成上の考えや実践上の留意点、今後の見通しなどについて発表する(グループごと)。	事前学習	イメージする園の特色から子ども主体の活動について考え、発表の準備をする。
		事後学習	発表後のディスカッションを通し、発表内容の省察をもとに、子ども主体の保育の在り方について更に考えを深める。
第12回	子ども主体の保育について、指導計画作成上の考えや実践上の留意点、今後の見通しなどについて発表する(グループごと)。	事前学習	イメージする園の特色から子ども主体の活動について考え、発表の準備をする。
		事後学習	発表後のディスカッションを通し、発表内容の省察をもとに、子ども主体の保育の在り方について更に考えを深める。
第13回	子ども主体の保育について、指導計画作成上の考えや実践上の留意点、今後の見通しなどについて発表する(グループごと)。	事前学習	イメージする園の特色から子ども主体の活動について考え、発表の準備をする。
		事後学習	発表後のディスカッションを通し、発表内容の省察

			をもとに、子ども主体の保育の在り方について更に考えを深める。
第14回	現場が新任保育者に望む心持ち（現場の保育者に聞く）。	事前学習	保育現場での働きをイメージし、意識したいこと、心掛けたいことについて考えをまとめてくる。
		事後学習	講義を通して新たに気付いたこと、入職までに準備したいこと、学びを深めたいことについてまとめる。
第15回	授業の総括 まとめレポート （子ども主体の保育を念頭に指導計画を作成する）。	事前学習	これまでの学びを振り返り、保育に関するあらゆる知識、技術等を関連付けながら、子ども主体の保育に向けて保育の計画に取り入れたい実践を想定して指導計画を作成する。
		事後学習	子どもの興味関心、発達に応じた保育内容が展開されるために留意したい事柄や、子どもの育ちを見通した、ねらいと内容になっているかなど、子ども主体の保育が展開されるための視点や取り組みについて見直し、指導計画を修正する。